

2023 年度 宇都宮市創造都市研究センター事業計画

1 シンポジウムの開催

「創造都市宇都宮都市圏」を考えるシンポジウム・2023

- 「産学官連携による創造都市を目指した」特色ある地域づくり“をテーマとした企業、行政、市民のそれぞれの役割について考えるシンポジウムを開催する。

① 開催日程

2023 年 7 月 13 日（木） 14：00～16：30

② 開催場所

J R 宇都宮駅「ライトキューブ宇都宮」

③ 内容

・基調講演

「生活に役立つ演技術と栃木の文化について」

俳優・脚本家・プロデューサー、とちぎ未来大使 岩瀬顕子氏（宇都宮市出身）

・記念講演

「地域活性化と大学—宇都宮大学の取り組み—」

宇都宮大学学長 池田幸氏

・特別講演

「創造都市実現に向けての宇都宮市行政の戦略」

宇都宮市経済部長 鈴木信夫氏

- ・宇都宮市創造都市研究センターの活動報告

2 「フォーラム」の開催

- 高大接続フォーラム

①開催日程

未定

②開催場所

宇都宮市教育センター

③内容

以下の 3 点を目的とし、宇都宮市内の高校生・大学生を対象として実施する。

- ・地域の大学への進学のかきかけ作りと高大接続について考える。
- ・宇都宮市内私立 4 大学の案内とその地域の歴史を学び、郷土愛を育む。
- ・参加者間の交流を深め、意見交換を行い、アクティブで積極性のある若手の人材を育てる。

3 中長期計画具体的施策の取組み等

- ①運営委員会、大学連絡会議等において大学間連携の充実等に努めながら、引き続き運営全般について企画立案等を行う。
- ②大学間の連携による教育・研究として、「宇都宮市創造都市研究センター大学連携講座」(CLU)を開講することとし、「共同教育プログラム」を策定した上で、大学間において単位互換、共同授業、施設・設備の共同利用等を実施する。
- ③宇都宮市創造都市研究センターを形成する大学教職員の「宇都宮都市圏の創造都市化」に関する理解を深めるため、FD・SD研修会を開催する。
- ④高大接続改革に向けて、「大学連絡会議」及び「宇都宮市との地域の課題解決のための共同研究」等において、高校・大学・自治体・企業等が一体となって協議を進める。
- ⑤社会人向け創造的キャリア形成のため、学び直し、かつ、創造型人材の育成等に向けて、宇都宮市創造都市研究センターを形成する宇都宮市内4大学の連携により専門性を活かした講義を、NPO法人とちぎユースサポーターズネットワークの協力を得ながら実施する。
- ⑥国際化が進展する中で、留学生の積極的な受入れ、実践的な語学教育・国際的な実務能力等を身に付ける国際キャリア教育に、大学コンソーシアムとちぎ及び宇都宮大学と共に取り組む。
- ⑦公開講座の開催に取り組む。
- ⑧「地域活性化のための共同プロジェクト研究会」において、形成大学、宇都宮市、宇都宮商工会議所、宇都宮まちづくり推進機構、クリエイター等の協力のもと「地域活性化」及び「まちづくり」に向けた取り組みを行う。
また、その下部組織として形成大学の学生をメンバーとする「創造都市研究ゼミ」(アントレ研究会)を編成し、「地域活性化」及び「まちづくり」について調査・研究を行う。2023年7月に金沢市を訪問し、金沢学生のまち視察及び金沢まちづくり学生会議の代表者とアントレ研究会による懇談を実施する。
- ⑨宇都宮市創造都市研究センターの活動記録・成果の書籍化を行う。
- ⑩地元への就職支援として、産学官連携による「キャリア形成支援推進協議会」を通して、インターンシップの支援、産学交流会等への参加、地元企業への就職率向上等に取り組むほか、「郷育講座」の開講、地元企業と形成大学就職担当との意見交換会・交流会を開催する。
- ⑪宇都宮市の創造都市形成の研究、大学間連携の在り方、高等教育の現状と課題及び地域の課題解決の調査・研究等を行うため、大学連絡会議を開催する。併せて、地域における課題解決のための研究を宇都宮市との共同により

実施する。

4 ホームページの活用

宇都宮市創造都市研究センターの活動状況等を報告し、認知度を向上させるため、ホームページを積極的に活用する。

5 評価委員会の設置

宇都宮市創造都市研究センターの中長期計画の進捗状況を年度ごとに評価を行うため「評価委員会」を設置し、高等教育の質の向上、宇都宮都市圏の創造都市による発展等を目指すこととする。なお、評価委員会による評価結果については、ホームページで公表することとする。